

# 1 学年 総合的な学習の時間 指導案

令和4年12月13日（火）  
 5校時 14:00～14:50  
 那覇市立松島中学校 1年1～6組 202名  
 授業実践者 1学年教職員  
 講師 秋山 美紀

## 1 学校で育てたい資質・能力

(1) 学校教育全体を通して（学校教育計画P16より抜粋）  
 <学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」>  
 ○教科において、学ぶ知識及び技能をしっかりと習得する。また、教科と関連した社会的な出来事（事象）についても、学んだ知識を踏まえ、さらに深める考える習慣や力を身に付ける。  
 <生きて働く力「知識・技能」>  
 ○社会の変化に主体的に向き合い関わり合う観点から、習得した知識及び技能を積極的に活用し、様々な問題の解決を図ろうとする思考力・判断力・表現力等を身に付ける。  
 <未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」>○常に目標に向かって取り組むことや社会的出来事に対して課題意識を持ち、主体的にその解決を図ろうとする態度を身に付けるとともに、より良い人生やより良い社会づくりに向かう力を身に付ける。

## 2 本校における総合的な学習の時間の目標

ESDの視点で、探究的な見方・考え方を働かせ、地域や社会に関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

(1) 地域や社会に関わる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域の良さに気づく。

(2) 地域や社会の中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を見につける。

(3) 地域や社会についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら将来の夢に向かって自ら進んで行動しようとする態度を育てる。

## 3 単元の概要

単元名	「共に歩む」～持続可能な社会～ 地域の人々や地域資源（自然・文化財）について学ぼう
内容のまとめ	第1学年 職業の選択と社会への貢献 ～ものづくりの面白さや工夫と生活の発展～
単元の目標	(1) 身近な地域の人々の生き方、地域資源（自然や文化財）などから、SDGsの基本概念「多様性」「相互性」について学ぶ。〔知識・及び技能〕 (2) 身近な人々の実体験や、職業に対する思いを聞いたり、地域資源（自然や文化財）等実際に触れ、課題を立て、情報を収集・整理・分析して、まとめ・表現することができる。〔思考・判断・表現〕 (3) 自分の将来を見据え、探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。〔主体的に学習に取り組む態度〕
働かせる見方・考え方	(1) 身近な～地域の人々の講話や、地域資源（自然・文化財）などに直に触れさせ、SDGsの基本理念である、「多様性」「相互性」について理解させる。 (2) この学習を通して、持続可能な社会を目指し、自ら社会に関わり参画しようとする意思、社会を創造しようとする主体としての自覚が芽生えるようにする。

## 4 単元について

### (1) 児童生徒観

1年生全体的に明るく元気で、活発である。各種行事等でも、持ち前の明るさとパワーで学校の盛り上げ役として頑張っている。人懐っこい、無邪気な生徒も多く、和やかな雰囲気が流れている。担任の先生方とも上手く馴染んでいて、各学級の生活の様子も安心して見ていられる。学習態度も良く、各教科の発表等も積極的である。この学習意欲を、2・3年生でも継続できるように学年全体で指導していきたい。

1年生で、キャリア教育に関する次のアンケートを実施した。「あなたには、将来の夢や興味のある仕事はありますか。（ある＝52％）（ない＝48％）」「仕事をするに対してどんなイメージを持っていますか？（複数回答 OK）」（楽しい45％）（やりがいがある44％）（面白い23％）（勉強になる36％）（面倒くさい93％）」この結果からも、まだしっかりとした職業観は培われていないように感じる。このため、キャリア教育等で、早めに職業観について学ばせ、それぞれの将来の夢や興味のある仕事の発見に結びつけ、「学びに向かう力・人間性等」を育んでいきたい。

(2) 教材観

学習指導要領の第1目標(2)には「実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現ができるようにする。」とある。本校の1学年の総合的な学習の目標は「SDGsを理解し、その視点から地域の人々の生き方に学び、職業について理解し、働く意義について考える」である。本教材は、この目標を達成するべく、外部の教育資源の活用や連携・交流を生かしながら、地域の人々から積極的に学んでいくものである。

地域の人や企業人・専門家など多様な人々の協力を活用しながら、SDGsの基本理念「多様性」「相互性」を理解させながら、生徒の職業観も育み、キャリア教育にも繋がるような教材にしたい。また、生徒の学習活動を支援してくれる多種多様な団体・人材を発掘しながら、生徒の感性や問題意識を揺さぶり、探求的な学習になるように手立てを行っていく。生徒自らが主体的に取り組み、より一層、幅の広い多種多様に取り組めるような教材になるよう開発を進めていく。

(3) 指導観

教材観でも述べたように、本学習は、外部の教育資源の活用や連携・交流を生かしながら積極的に取り組んでいくものである。そのため、学校側から地域の人材や企業の方々へ積極的にアプローチを試み、連携を図りながら教材及び学習作りを行っていくものとする。企業や地域の方を講師として迎え、働いている人々の直の声を聞き、SDGsへの取り組みについて学ばせ、様々な活動や職種について学び、理解し、持続可能な社会への参画や職業観を培わせたい。

また、普段の学習規律の徹底、聞く態度・話す態度などのマナー面も踏まえた指導を行い、探求的な学習に主体的・協同的に取り組める情動的な態度の育成も図っていく。講師としてきてくれる方々への感謝の気持ちも忘れさせず、接遇マナーなども合わせて指導できればと考えている。

5 単元の評価規準と育成を目指す具体的な資質・能力

知識・技能【知技】	思考・判断・表現【思判表】	主体的に学習に取り組む態度【主体的態度】
<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsの構成概念「多様性」「相互性」等があることが分かる。</li> <li>身近な地域の人々の生き方から学ぶ。</li> <li>身近な地域資源(自然や文化等)を学ぶ。</li> <li>身近な社会の職業が分かる。</li> <li>情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。</li> </ul>	<p>○課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題状況の中から課題を発見し設定している。</li> <li>解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている</li> </ul> <p>○情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて手段を選択し、情報を収集し、適切な方法で蓄積している。</li> <li>問題状況における事実や関係を把握し、理解する。</li> <li>多様な情報にある特徴を見付ける。</li> <li>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。</li> </ul> <p>○整理分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題状況における事実や関係を把握し、理解する。</li> <li>多様な情報にある特徴を見付ける。</li> <li>事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。</li> </ul> <p>○まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。</li> <li>国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。</li> </ul> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</li> </ul>	<p>○主体性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>○協同性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>○自己理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。</li> </ul> <p>○他者理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探求的な活動を通して、自分の生活及び地域との関わりを見直し、自分のt9億超や良さを理解しようとしている。</li> </ul> <p>○地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探求的な活動を通して、進んで地域の問題解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとしている。</li> </ul>

6 単元の指導と評価の計画(全時間)

前単元	「共に歩む」～持続可能な社会～ 「地域探訪」～地域の人々や地域資源(自然や文化遺産)について学ぼう～
-----	--



「共に歩む」～持続可能な社会～ 「地域探訪」～地域の人々や地域資源(自然や文化遺産)について学ぼう～

【・】指導に生かす評価、【○】記録に残す評価

時間	学習活動(△)と児童生徒の反応(◆)	学習を支える教師の働きかけ(□)	【評価項目】(評価方法) <他教科>
1	<p>「SDGs～未来を創造し、できることを考えよう」 △タブレットを活用して、SDG17の目標について調べる。調べたことを友だちと共有する。</p> <p>◆様々な目標と課題があるんだな。 ◆目標に向かってできることは何だろう。</p>	<p>□インターネットを活用してSDGsについて、調べさせる。調べたことを友だちと共有させる。</p> <p>□調べたことから興味があるもの、また、何かできることがないか?を考えさせる。</p>	<p>【知識技能】 タブレットの活用【・】「進路ノート」のまとめ【○】 振り返りシート【○】</p>

2	<p>「『洋服から考えるSDGs』講話『FOODRIBBON』」 △化学繊維の問題点と天然繊維の服の良さ。洋服の循環について理解する。(ライフサイクルアセスメント) ◆化学繊維の洋服は安く便利だけど、モノが余ってしまったり、環境破壊に繋がっているんだ。 ◆自分もこの取り組みに参加してみたい。</p>	<p>□講話の中から、SDGsの取り組みや循環型社会への企業の取り組みについて学ばせる。 □講話を通して、身近に、自分たちでも取り組めることがないか？考えさせる。「天然繊維で街を緑化しよう」プロジェクトへ興味を抱かせる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】</p>
3	<p>「『麻袋プランター』講話『FOODRIBBON』」 △コーヒー豆の麻袋を再利用した麻袋プランターについて講話を聞き、循環型社会について理解する。 ◆コーヒー豆の麻袋プランターを作る発想が凄い。 △麻袋プランターに植物を植える。 ◆この循環の取り組みは凄い。楽しい。</p>	<p>□リユースやフェトレード（コーヒー豆）について学ばせて、SDGsの視野を広げさせる。 □実際に麻袋プランター（コーヒー豆）に、植物を植えさせる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】</p>
4	<p>「服の力プロジェクト」講話「ユニクロ」 △「服の力プロジェクト」～SDGsの取り組み～について講話を聞き、SDGsについて理解を深める。 ◆貧困で苦しんでいる人々がこんなにいるんだ。 ◆自分にも何かできることがないかな？</p>	<p>□講話の中から、SDGsの取り組みや循環型社会（リユースやコーヒー等のフェトレードについても）学ばせてSDGsの視野を広げさせる。 □講話を通して、身近に、自分たちでも取り組めることがないか？考えさせる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】</p>
5	<p>「自分たちの町を知る＝身近な地域を調べよう」 △松島中周辺（末吉公園等）の事を調べよう。 ◆末吉公園って沖縄で一番大きな公園なんだ。 ◆松川遊水池って、大切な役割があったんだ。 ◆末吉公園についてもっと調べてみたい。</p>	<p>□インターネットを活用してSDGsについて、調べさせる。調べたことを友だちと共有させる。 □調べたことから興味があるもの、また、何かできることがないか？を考えさせる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】 体験場面の見取り【・】</p>
6	<p>「地域学習～末吉公園の魅力発見～」講話「藤井さん」 △地域の資源の持続・継承・発展に取り組む人々とその思いを聞く。 ◆身近な所にこんなに雄大な自然が残されてんだ。 ◆実際に末吉公園に行っているいろいろ調べてみたい。</p>	<p>□身近に残されている自然や文化財等を持続・継承・発展に取り組んでいる人々の思いを知らせる。 □講話を通して、身近に、自分たちでも取り組めることがないか？考えさせる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】 体験場面の見取り【・】</p>
7 8 9	<p>「地域学習～末吉公園果てまで行ってQ～」 △末吉公園フィールドワーク ◆身近な所にこんなに雄大な自然が残されてんだ。 ◆実際に末吉公園に行っているいろいろ調べてみたい。</p>	<p>□身近に残されている自然や文化財等を持続・継承・発展に取り組んでいる人々の思いを知らせる。 □講話を通して、身近に、自分たちでも取り組めることがないか？考えさせる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】 体験場面の見取り【・】</p>
10	<p>「地域学習～末吉公園果てまで行ってQ～」 △事後学習「フィールドワークのまとめ」をする。 ◆いろいろなことが分かった。楽しかった。 ◆この貴重な自然を残すために何かできないかな。</p>	<p>□プレゼンテーションや新聞、ポスター、レポートなどでまとめさせる。 □まとめさせながら、この貴重な自然を残すために自分たちで取り組めることがないか？考えさせる。</p>	<p>【知識技能】 プレゼン・新聞・ポスター レポート【○】</p>
11	<p>「『土と野菜』～企業人から学ぶ』講話「秋山さん」 △「捨てるものがない社会～」の講話を聞き、循環型社会について学ぶ。 ◆循環型社会についてさらに理解を深めたぞ。 △実際に野菜の種を植えて育ててみよう。 ◆実際に育てて収穫して食べてみたい。</p>	<p>□講話の中から、SDGsの取り組みや循環型社会への企業の取り組みについて学ばせる。 □実際に野菜を育てる楽しさを抱かせて、循環型社会について大観させる。</p>	<p>【知識技能】 ワークシートのまとめ【○】 振り返りシート【○】</p>



後単元	<p>「共に歩む」～持続可能な社会～「地域の人々の生き方から学び、13歳の自分に摂っての「働く意義」をまとめよう 「産業教育プログラム『NAHA ミライ City in School』」</p>
-----	---

7 本時の学習指導について

(1) 目標

○前回、学んだことを振り返りながら講話「『FOODRIBBON』「土と野菜」～企業人から学ぶ、持続可能な社会～」を聞き、農業と持続可能な社会について学ぶ。また、農業と食料の生産と自給についての現状を学び、これからの農業や食のあり方について考える。

○実際の苗植え体験を通して、農業の楽しさを実感し、持続可能な社会と今後の食問題について直に考えさせる機会とする。

(2) 授業仮説

○講話「『土と野菜』～企業人から学ぶ、持続可能な社会～」を聞き、農業と持続可能な社会について考えることができるだろう。また、これまでに学習してきたSDGs 17の目標の、8「働きがいも経済成長も」11「住み続けられるまちづくりを」について関連付けても考えることができるだろう。

○実際の苗植え体験を通して、ものを作る楽しさを実感し、持続可能な社会と今後の食問題について直に考えることができるだろう。

- (3) SDGsとの関連項目
  - SDGs 8 「働きがいも経済成長も」
  - SDGs 11 「住み続けられるまちづくりを」
  - SDGs 12 「つくる責任つかう責任」
  - SDGs 13 「気候変動に具体的な対策を」

(4) ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度	関連	内容
① 批判的に考える力 (批) 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協動的、代替的に思考・判断する力		この授業の学習指導で特に重視する3つの能力・態度  ② 未来像を予測して計画を立てる力 5年後10年後の未来を見据えながら、よりよい社会になるように、「循環型社会」への取り組みをみんなで考えて、協力しながら計画を立てる力を培う。  ④ コミュニケーションを行う力 「循環型社会」において、どのような取り組みができるのか？友人たちと意見交流をしながら、様々なアイデアを出し合って、自分の意見も述べながら、積極的にコミュニケーションを行う力を育成する。  ⑦ 進んで参加する態度 「循環型社会」について、しっかりと考え、自分自身の行動に責任を持ち、自分ができる役割を考え、自主的に・主体的に社会に参加していく態度を育成する。
② 未来像を予測して計画を立てる力 (未) 未来像を予想して計画を立てる力過去や現在に基づき、あるべき未来像(ビジョン)を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力		
② 多面的・総合的に考える力 (多) 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり(システム)を理解しそれらを多面的、総合的に考える力		
④ コミュニケーションを行う力 (コ) 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力	○	
⑤ 他者と協力する態度 (他) 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度	○	
⑥ つながりを尊重する態度 (つ) 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度		
⑦ 進んで参加する態度 (進) 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を踏まえた上で、ものごとに自主的・主体的に参加しようとする態度	◎	

(5) 展開 (第3時)

	学習活動	教師の働きかけ (□) 講師の働きかけ (◇) 予想される児童生徒の反応 (◆)	評価規準とSDGs 【評価項目】 (評価方法)
導入 (10分)	1 私たちが考える新しい価値 ○FOOD REBBON 企業の取り組みを聞く	□講師紹介企業「FOOD REBBON」の取り組みを紹介する。 企業の取り組みに、生徒に興味・関心を抱かせる。 ◆「FOOD RIBBON」って凄い企業だな。	【主】(観察) 今回の授業に興味を持たせる
展開 (30分)	2 めあて	地球の環境を守りながら、5年後・10年後の未来に、みんながもっと住みやすいまち作りをするために、どのような取り組みができるのか？みんなで考えてみよう。	【SDGs11】 【SDGs13】
	3 前回の振り返り (少し先の未来を想像してみよう) (1) ライフサイクルアセスメント ○化学繊維と天然繊維について (2) 麻袋プランターの取り組み ○資源の有効活用・環境配慮  (3) 前回の授業を受けて、日常生活で変わったこと？興味を持ったこと、実際に取り組んでいることをワークシートに書く。 友人と意見交換する。	◇5月に行った授業の振り返りをする。(講師) ◆こんな取り組みをしたな。懐かしい。 ◇企業の取り組み(持続可能な社会)を紹介する。 □ライフサイクルアセスメントなどについて理解させる。 ◆天然繊維にはこんな良い所があったんだな。 □麻袋プランターの取り組みについて振り返らせる。 ◆植物を植えて楽しかったな。今日も苗植え体験頑張ろう。 □前回の授業後に変ったこと？興味を持ったこと、実際に取り組んでいることについて、ワークシートに記入させる。 ◆なるべく環境に優しい天然繊維のモノを使っているよ。 □ワークシートをもとに、友人どうして意見交換させる。 ～記入できない生徒へ声かけ支援する～ ～自由な意見が出るように声かけ支援する～	【思考判断表現】(観察)

	学習活動	教師の働きかけ (□) 講師の働きかけ (◇) 予想される児童生徒の反応 (◆)	評価規準とSDGs 【評価項目】(評価方法)
	<p>(4) グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①身の回りで捨てられていて、とっても、もったいないと思うモノ。</li> <li>②これは何か再利用できるんじゃないか?と思うモノ。(実用化)</li> </ul> <p>①と②の意見を出し合い、グループでまとめてボードに記入する。</p> <p>各学級で各班の発表をする。(学級代表を選出する)</p> <p>各学級の代表者が全クラスに発表・発信する。</p> <p>4 実演 (苗植体験)</p> <p>(1) 麻袋プランターor紙袋パックに野菜の種・苗を植える。</p> <p>(2) 育て方について説明を聞く。説明を聞きながらメモをとる。</p>	<p>□友人どうして自由に意見やアイデアを出させる。</p> <p>◆そうだね、これはもったいない。</p> <p>◆それはいい考えた。有効的に再利用できるしビジネスにもなる。</p> <p>□各班の話合いがスムーズに行くように声かけする。</p> <p>□学級で班の発表をさせる。その中から各学級代表を1班、選出して、○組へ派遣する。(全体発表)</p> <p>◇Main 学級へ派遣して全体に発表させる。講師が講評を交える。</p> <p>□準備した麻袋プランターor紙袋パックに野菜の種を植えさせる。</p> <p>◆上手く植えることができた。収穫が楽しみだ。</p> <p>□野菜の育て方について説明を聞かせる。</p> <p>◆お家で丁寧に育てよう。</p>	
終末 (10) 分	5 まとめ (講話のまとめ)		【思考判断表現】 (振り返りシート)
	6 振り返り	<p>今日みんなが出してくれたアイデアが多くの人が求めるものになり、5年後・10年後の地球を守り、みんながもっと住みやすい新しい世の中を作っているかもしれませんね。</p> <p>今日の授業を通して、循環型社会についてさらに知識を深めることができた。「捨てるものがない明日へ」をテーマに自分も何か取り組んでいこうと思った。</p>	

### 8 評価 (ESDの資質能力に係わる評価)

#### (1) 視点 (生徒の評価) ※上記1「学校で育てたい資質・能力」の(1)との関連

<学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」>

常に、目標をもって取り組むことや社会的出来事に対して、課題意識を持ち、主体的にその解決を図ろうとする態度を身につけ、より良い地域・社会づくりに向かう力を身につける。

⇒ワークシート・付箋紙・振り返りのフォームへの記入を通して社会的出来事に対して課題意識を持って、主体的に「循環型社会」について、考えることができたか。

⇒ワークシート・振り返りで「循環型社会」への取り組みについて考え、記述しているかを確認する。

<未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」>

社会の変化に主体的に向き合い、関わり合う観点から、習得した知識及び技能を積極的に活用し、他者と共同して様々な問題の解決を図ろうとする思考力・判断力・表現力等を身につける。

⇒友人とのアイデアのシェアやワークシートなどで、「循環型社会」について理解した上で、持続可能な社会を作る視点など社会の変化に主体的に向き合い、関わり合う観点で、問題の解決を図ろうとしているか?

⇒グループでの話し合いの様子や発表内容を確認する。

### 9 板書計画

<p>私たちが考える新しい価値～捨てるものがない社会へ～ めあて 地球の環境を守りながら5年後・10年後の未来に、みんながもっと住みやすい街にするため、どんな取り組みができるのか? みんなで考えてみよう</p> <p>【前回の振り返り】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>SDGs 17のゴール</td> <td>ライフサイクル アセスメント</td> <td>麻袋 プランター①</td> <td>麻袋 プランター①</td> </tr> </table> <p>【前回の授業を受けて】 前回の授業を受けて、日常生活の中で変わったこと *生徒の意見を聞きながら、教師が板書する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>ボランティア を始めた</td> <td>SDGsの本 を読み始めた</td> <td>モノを捨てな くなった</td> <td>リサイクルに気 遣うようになった</td> </tr> </table>	SDGs 17のゴール	ライフサイクル アセスメント	麻袋 プランター①	麻袋 プランター①	ボランティア を始めた	SDGsの本 を読み始めた	モノを捨てな くなった	リサイクルに気 遣うようになった	<p>【これ捨てているけど…】 これ捨てているけど…もったいないと思っているモノは? *生徒に意見を板書する</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>破れた靴下や シャツ</td> <td>ご飯 給食</td> <td>読み終わった 漫画や雑誌</td> <td>使い終わった プリントや紙</td> </tr> </table> <p>【5年後・10年後の未来が住みよい街になよう…】 ☆グループワーク「身近な所で自分たちにはなにができるだろう?」</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>グループの 意見</td> <td>グループの 意見</td> <td>グループの 意見</td> <td>グループの 意見</td> </tr> </table> <p>まとめ 生徒の意見から数点ピックアップしてあげる (板書する)</p> <p>振り返り 各自、フォームにて提出</p>	破れた靴下や シャツ	ご飯 給食	読み終わった 漫画や雑誌	使い終わった プリントや紙	グループの 意見	グループの 意見	グループの 意見	グループの 意見
SDGs 17のゴール	ライフサイクル アセスメント	麻袋 プランター①	麻袋 プランター①														
ボランティア を始めた	SDGsの本 を読み始めた	モノを捨てな くなった	リサイクルに気 遣うようになった														
破れた靴下や シャツ	ご飯 給食	読み終わった 漫画や雑誌	使い終わった プリントや紙														
グループの 意見	グループの 意見	グループの 意見	グループの 意見														